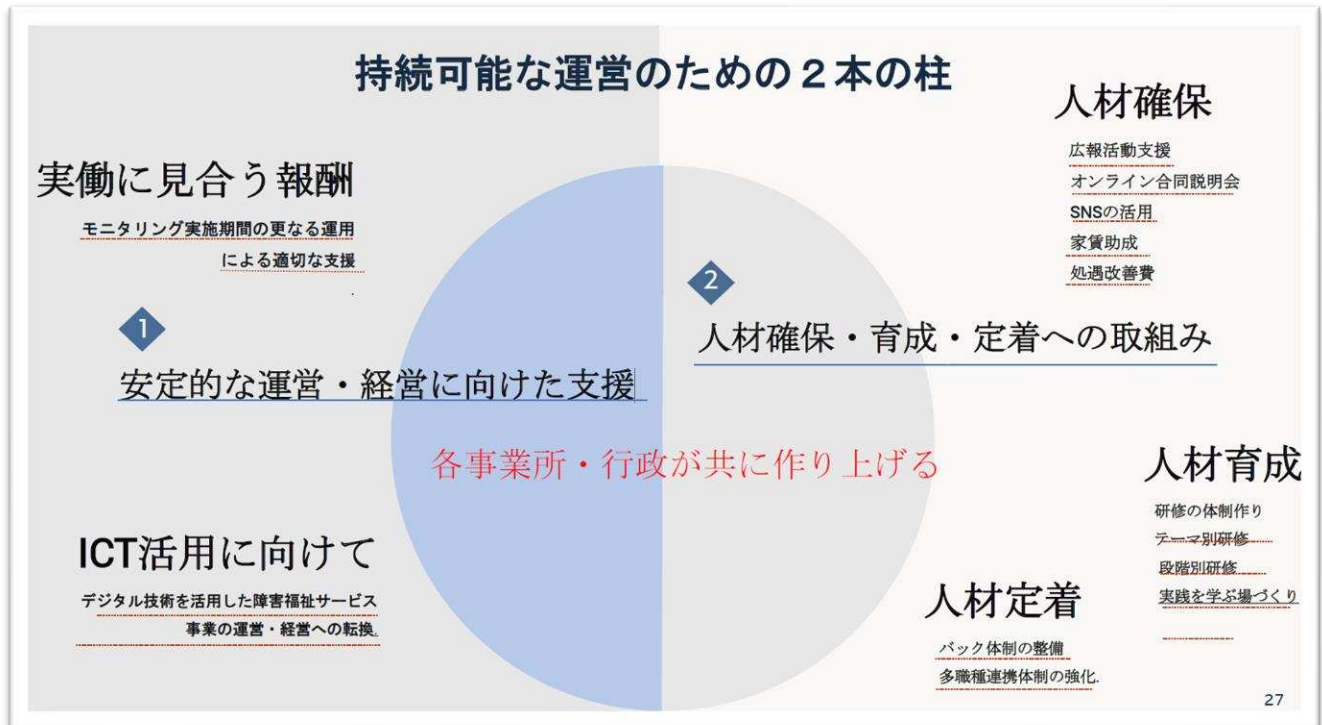


相談支援部会からの提言に対する検討状況について
(令和5年度第3回目黒区障害者自立支援協議会提出分)



1. 安定的な運営・経営に向けた支援のうち「ICT活用に向けて」

計画相談支援システムの導入費、パソコン・タブレット等の端末購入費、Wi-Fiなどのネットワークの整備費などについて、各事業所のICT環境や、これらの機器の導入により見込まれる効果（作業時間短縮など）について情報収集を行う。

2. 人材確保・育成・定着への取組

(1) 人材確保

①目黒区障害者週間記念事業～めぐろふれあいフェスティバル～の活用について

令和6年12月7日（土）に開催予定の「めぐろふれあいフェスティバル」において、目黒区障害者自立支援協議会のブースを出展し、「目黒区における相談支援事業や相談支援専門員についてのPR動画」の放映を行う。

②めぐろ福祉しごと相談会の活用について

令和6年12月21日（土）に開催予定の「めぐろ福祉しごと相談会」で上記の動画を用いて紹介を行う予定。

【めぐろ福祉しごと相談会】

・日時：令和6年12月21日（土）9時30分から12時30分まで

・概要：目黒区介護事業者連絡会と連携し、区内の介護・障害福祉サービス等事業者が、人材を確保することを目的とした採用相談会であり、来場者からの相談対応や参加事業所の紹介動画（1分程度）の放映を行う。

③オンライン合同説明会・相談支援専門員の職の認知度向上について

相談支援業務に興味がある人に向けたオンライン合同説明会は、決まった日時に参加するため、取組の効果が及ぶ範囲が限定されてしまう。

そこで、上記①で作成された動画を目黒区公式YouTubeチャンネルにアップロードし、不特定多数の者に対し時間を問わず周知することの検討を行う。

(2) 人材育成・人材定着

相談支援専門員の資格取得直後や一定の経験を有する相談支援専門員のスキルアップについては、経験年数等に応じて求められる研修の内容が異なるため、テーマ別研修や目黒区で活躍する主任相談支援専門員の協力を得ながら、研修機会を充実させることについて検討を行う。

このほか、困難ケースや緊急時の対応など、相談支援専門員のバックアップ体制については、相談支援事業の委託先、目黒区基幹相談支援センター、目黒区地域生活支援拠点等と連携を図りながら、地域全体として人材育成を行うことができるような体制づくりを目指す。

(3) その他

東京都が実施する「障害福祉人材の確保・定着に向けた事業所等支援事業」の活用を区から勧奨し、人材採用・育成を効果的に進めたい事業者を支援する（今年度は区内の1事業所が活用予定）。

【障害福祉人材の確保・定着に向けた事業所等支援事業（募集終了）】

- ・概要：障害福祉サービス等事業者による採用活動や人材育成に関するノウハウの習得、効果的な人材採用・育成に向けた取組を支援するため、東京都がアドバイザーを派遣
- ・手法：参加事業者（令和6年度は都内50事業者）を概ね5法人ごとにグルーピングし、グループごとにアドバイザーを派遣。人材採用における効果的な手法や効果的な採用広報などを支援（令和6年度中に全5回実施）。
- ・内容：①人材紹介、リファラル採用、ソーシャルリクルーティング、ミートアップ、アルムナイ採用、カジュアル面談等の人材採用における効果的な手法の提案
②会社説明会、求人票、採用サイト、SNS、採用動画、採用ピッチ資料、インターンシップ等の採用広報に関する支援
③入職後の育成体系・研修体系作成への助言